

盛岡城跡公園ゆかりの人々



南部信直 なんぶのぶなお
天正15年(1546)3月1日～
慶長4年(1599)10月5日
初代盛岡藩主であり、南部家26代当主。約400年前、嫡男利直(2代藩主)を総奉行に盛岡城築城を手がけた。早くから豊臣家・徳川家と友好関係を結ぶなど政治力に優れていたと伝えられる。



原敬 はらかし
安政3年(1856)3月15日～
大正10年(1921)11月4日
盛岡市本宮出身の内閣総理大臣を務めた政治家。岩手公園の開園に際しては南部家と岩手県との家政顧問を務めた。岩手県立図書館の設置に尽力するが、完成を見ずに暗殺された。旧図書館前に「戊辰戦争殉難者五十年祭」の際の祭文を記した顕彰碑が建つ。



石川啄木 いしかわたくばく
明治19年(1886)2月20日～
明治45年(1912)4月13日
盛岡市渋民出身の歌人。青春時代を盛岡で過ごし、盛岡中学在学中の思い出として、公園整備前の盛岡城を歌った「不來方のお城の草に寝ころびて 空に吸はれし 十五の心」の歌碑が二ノ丸に建つ。



新渡戸稻造 にとべいなう
文久2年(1862)9月1日～
昭和8年(1933)10月15日
盛岡市下ノ橋町出身の農学者・教育者・思想家。国際連盟事務次長などを務めた。英文書「武土道」は世界的な名著。幼少時代よく遊んだ盛岡城跡二ノ丸に「願わくはわれ太平洋の橋とならん」の碑が建つ。



宮沢賢治 みやざわけんじ
明治29年(1896)8月27日～
昭和8年(1933)9月21日
花巻市出身の詩人・童話作家。盛岡中学、盛岡高等農林時代に盛岡で暮し、その頃の体験が作品にも影響を与えたといわれている。城の東側の芝生広場に、「川と銀行木のみどり」の一節で有名な文語詩「岩手公園」の詩碑が建つ。



宮野小提灯 みやのことうちん
明治28年(1895)9月25日～
昭和49年(1974)
盛岡市仙北町出身の俳人。岩手佛壇の重鎮として活躍。多くの後進の指導にも当たった。淡路丸に「月待つや 独り古城の 松のもと」の句碑が建つ。



盛岡市のシンボル



木・カツラ



鳥・セキレイ

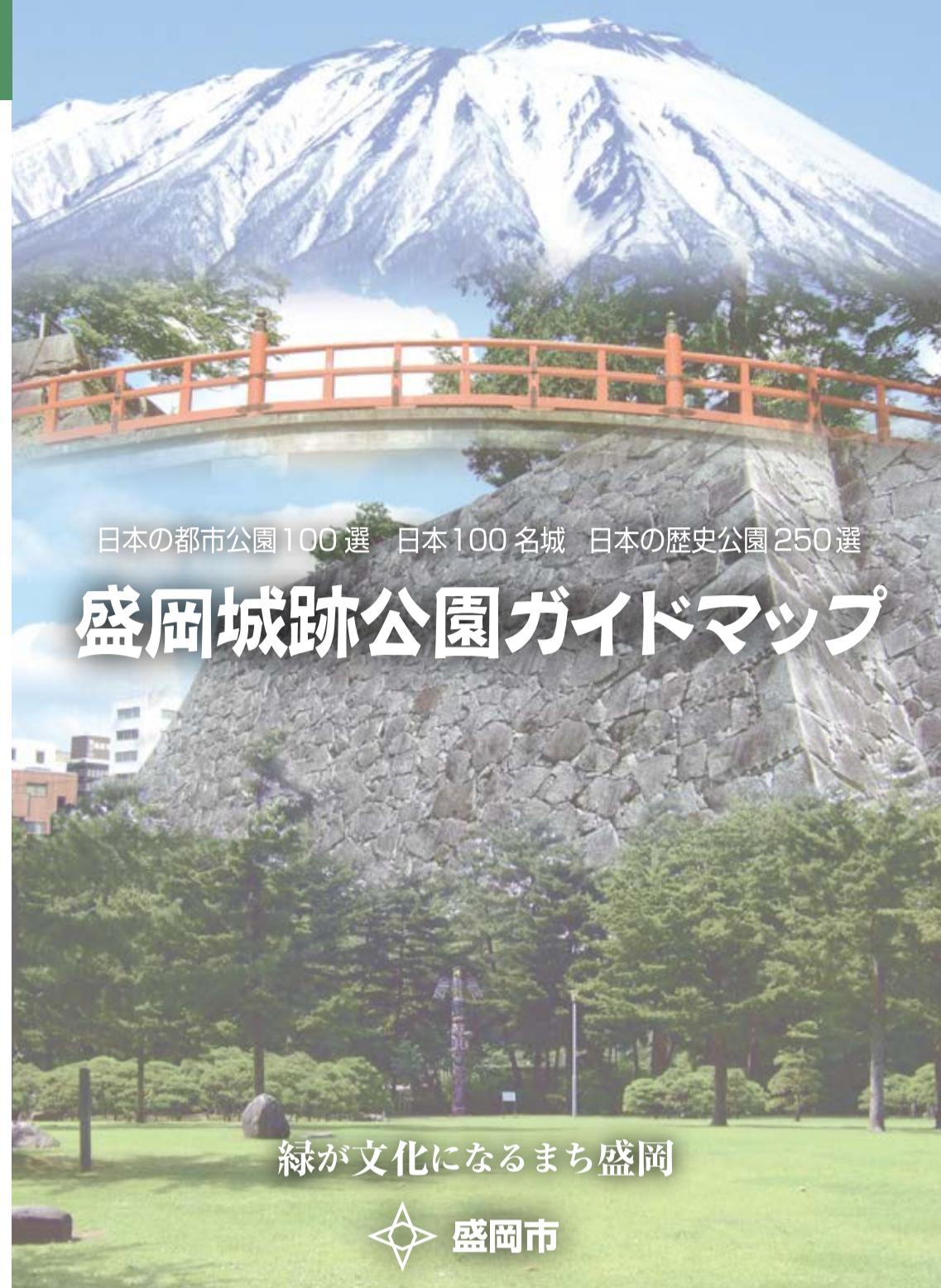
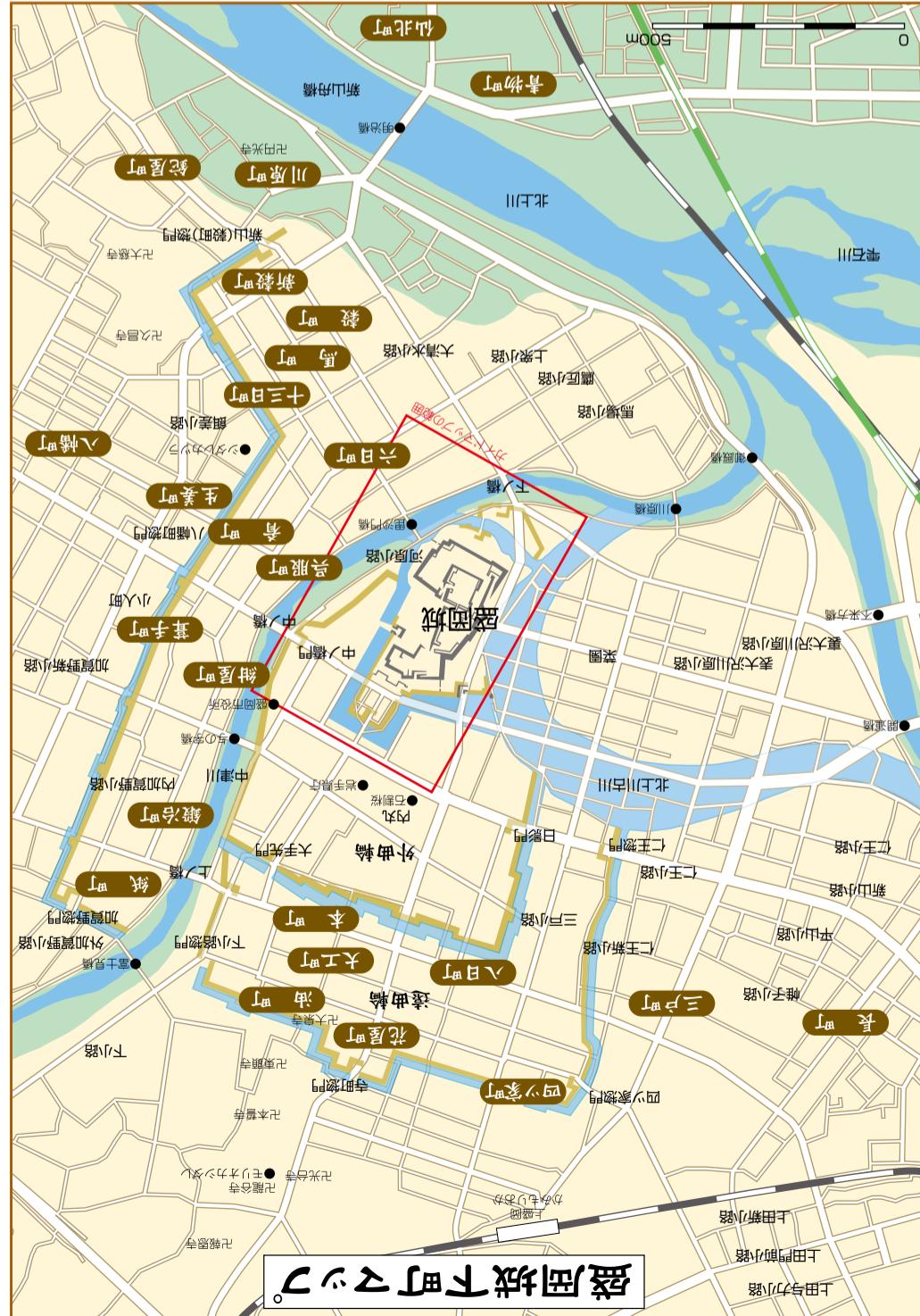


盛岡城跡公園ガイドマップ

第三改定版 令和元年 8月 1日発行

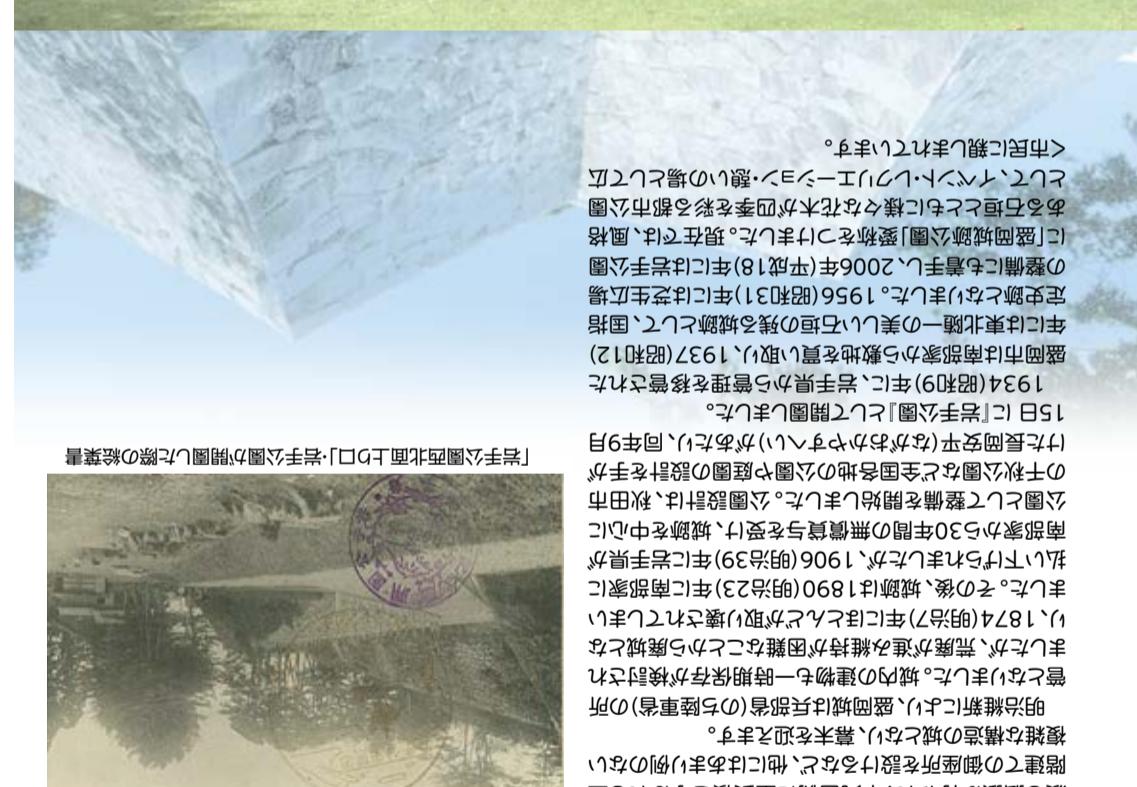
発行／岩手公園開園100周年記念事業実行委員会
事務局／盛岡市 都市整備部 公園みどり課
改訂／もりおか歴史文化館
写真提供／(財)東京都公園協会・もりおか歴史文化館

※道路状況は18年現在の略図です。



盛岡城跡公園ガイドマップ

緑が文化になるまち盛岡



全国で最も古い公園の一つである岩手公園が開園100周年を迎えるにあたり、多くのイベントが開催されました。

1686(寛永3)年に開園した岩手公園は、日本で最も古い公園の一つです。この公園は、江戸時代初期に岩手藩の主である伊達宗宗によって、藩主の隠れ家として作られたもので、現在は、公園として一般公開されています。

公園内には、多くの歴史的建造物や自然景観が残っています。

公園内には、多くの歴

